

令和4年度 豊中市総合計画審議会 第4回会議 議事要旨

【日 時】令和4年（2022年）11月18日（金）18時～19時40分

【場 所】第一庁舎4階第1会議室、ZoomによるWEB会議

【出席者】有川委員（オンライン）、大野委員（オンライン）、加藤委員、宗前委員（オンライン）、久委員、壬生委員（オンライン）、森委員、石井委員、森山委員、八木委員

【欠席者】水上委員

【事務局】榎本都市経営部長

都市経営部経営計画課：森田、坂本、田中、島、久木、上田、松田

【傍 聴】なし

【案 件】1. 総合計画審議会部会の審議結果の報告について
2. リーディングプロジェクトの評価シートについて
3. 2022年度（2021年度実施分）政策評価結果への意見集（案）について
4. その他

【資 料】資料1 2022年度（2021年度実施分）政策評価結果

資料2 2022年度（2021年度実施分）政策評価結果への意見等について

資料3 2022年度（2021年度実施分）政策評価結果への意見集（案）について

参考1 第4次豊中市総合計画（本編）

参考2 第4次豊中市総合計画（概要版）

【会議録】下記のとおり

■開会

■成立要件の確認

事務局

本審議会規則第7条第2項に基づき、会議の成立には委員の過半数の出席を必要としています。本日は、委員総数11名中、4名のオンライン参加を含めて10名の出席がありますので、成立要件を満たしております。また、本日、傍聴者は0人です。

■資料の確認

■「1. 総合計画審議会部会の審議結果の報告について」

会長

本来であれば、各部会長から審議会に審議結果を報告することとなっておりますが、まず事務局からそれぞれの部会の審議結果の概要の説明をいただき、それについて部会長から補足するという形で進めたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員

異議なし

事務局

(資料2「2022年度(2021年度実施分)政策評価結果への意見等について」説明)

会長

各部会で議論があったものを全体に関するものか各施策に関するものか識別をして、意見集に載せるか各課への個別フィードバックか二つの返し方を想定しながらまとめていただいております。第二部会につきましてはもれなく書いていただいたのではないかなと思います。全体を見て、第二部会に関してだけではなくて、昨年よりA評価が格段に増えています。最終年度が近づいていますが、非常に喜ばしいことです。当然、終わりに近づいているので、見通しも良くなっているという意味で、A評価が増えたということは、順当な施策展開だということを各評価の担当者もしていただいたということで、評価したいと思います。少し注文を付けるとすれば、A評価の中でも、取り組みましたという表現で終わっているものがあるので、取り組んだ結果、どのような成果があったのかを書いていただきたいと思います。全体を通してこういう見方で少し加えたらどうかということも補足させていただきます。

部会長

この資料を見ていただいたら、我々の部会は何を議論してきて、どういうコメントをしたかということとは分かると思います。全体を通して、あるいは特徴的なところの話をさせていただきたいと思います。資料2の1ページ、(1)の2番で、「先進的な取組みは積極的にアピールしてほしい。」というコメントを反映していただきましたが、具体的には、委員より「全国的に注目をされているインクルーシブ教育をやっている割には一言も触れていません。せっかくいいことをやっているのだから、もっとそういうところはアピールしてほしいし、さらには毎年同じような調子ですごくレベルの高いことをやっているのだから、毎年きちんと書いておいた方がアピールできるのではないのでしょうか」というコメントを返させていただいたのがこの2番のところ。具体的には、障害児が普通教室と一緒に学ぶインクルーシブ教育の話ですが、他の施策でも豊中市が全国的にも頑張っているものがあるはずなので、そこはぜひアピールをこれからもしていただくようにすると、このシートを書いている部署も元気づいて書けるのではないかなと思いますので、来年度以降もこういうところをお願いしたいと思います。

次に、この資料で何度か出てきた話ですが、コロナ禍ももう2年目に入っているわけですから、何でもコロナ禍のせいにはしないでということです。コロナ禍なのに頑張ったところや、頑張ったのだけれど成果が出なかったという書き方が本来でしょうと指摘させていただきました。

全般的には、会長がおっしゃるように評価も上がっていますし、書きぶりもかなりPDCAが回っている書きぶりになってきましたが、まだそうではないところも見られますので、今後も事務局のほうからも担当部署の方に伝えていただくようお願いしたいと思います。事務局が用意している書き方のマニュアルに明確な指示が書いてあるにも関わらず、バツとしている例示の書きぶりが出てくる部分があるので、書き方の指示を徹底するというのも必要かと思いました。

また部署によってもかなりばらつきがあると感じています。ある部署の書きぶりはDoが多いという印象がありましたので、もう少し全体的にPDCAが回るような書きぶりをしてほしいと思いま

す。うまく PDCA を回されている部署をモデルにしながら、他も引き上げていただけるといいなと思いました。

会長

他の委員もご意見がありましたら、お願いします。

委員

4 ページの (4) 第 3 章-1 のところですが、SDGs という言葉が最近はやり言葉のように、我々の実生活と少し離れたところでメディアに採り上げられています。我々の仕事でも SDGs を意識してと言われますが、SDGs という言葉が世の中を独り歩きしているようなイメージを持っています。第二部会でこれを議論させていただいたのは、環境だから SDGs みたいな書き方をされていたのですが、部会長から SDGs は 17 項目あるうちのひとつが環境に関わることだとコメントもいただいています。第一部会では、いろいろな問題を探り上げた中で、SDGs を意識したような表現をどう判断されたのでしょうか。非常に難しい話だと思いますが、SDGs という言葉が独り歩きして、市民の方全員がほんとに SDGs を正しく理解して市民生活を送られているのかというと、そんな状況ではないと思います。SDGs という言葉をどう使っていったらいいのかという問いかけについて、第一部会ではそういう議論はされたのでしょうか。

部会長

議論は行っていません。皆さんはすぐに 17 のゴールの方に行くのですが、その下に達成基準となる 169 のターゲットがあります。これはかなり細かく書かれています。本来はこの 169 のターゲット、達成基準がどこまでいっているかというところを見ないといけないと思います。おそらくそこは意識されている方はまだまだ少ないのではないかと思います。

委員

私は SDGs という言葉が先行しない方がいいのではないかというのが個人的な意見ですが、そのあたり委員の皆さまはどうお考えでしょうか。

委員

SDGs というのは、イコール環境問題ではないのですが、環境のところでは必ず出てくるイメージがあります。実際、第一部会で SDGs が議論にならなかったのは、書いてあることに SDGs の表現がほとんどなかったからだと思います。環境のところでは SDGs が出てきたので引っ掛かっておられると思いますが、本来はすべての施策に SDGs というのは関わってくるものはずです。ですので、ちょっと唐突なイメージがひとつあるのと、イコール環境という印象を与えてしまうというこの二つだと思います。この総合計画の中では、SDGs というのは、おそらく今後は全部を網羅した考えとして存在しているものという扱いをしていくと思います。今学校の教科書にも必ず SDGs の考え方は書かれており、裏表紙にも載るくらいです。ここで出すか出さないかという事は、もはや議論の対象にはならないと思います。記述があって当然のものでもあります。環境に関してだけ記述があるというのは、違和感があるという感じは確かにします。

会長

そのようなご指摘があったので、文章を変えさせていただいています。SDGs を表現から落とす必要はまったくないと思います。

委員

ミスだと思いますが、3 ページの (3) 第 2 章の「指摘箇所」で、3 番目第 2 章-2 のページが 18 になっていますが、19 ページが正しいと思います。そのあと 6 番目のところまでのページの記載が違うと思いますので訂正いただけたらと思います。

会長

意見集にひとつ私の方から追加の提案をさせていただきましたが、それを含めまして最終案とさせていただきますと思います。皆さんどうもありがとうございました。事務局は、非常にたくさんの議論をまとめていただき、ありがとうございました。

■ 「2. リーディングプロジェクトの評価シートについて」

会長

案件 2 に入りたいと思います。リーディングプロジェクトの評価シートについて、施策に対する評価について、皆さんのご意見をいただきたいと思います。事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料 1 「2022 年度(2021 年度実施分)政策評価結果 (P89、90)」説明)

会長

まずは忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

委員

順調に進んでいるので A 評価というのはいいと思いますが、施策シートと施策の方向性シートをあわせて拝見すると、施策の方向性シートのほうには課題が書かれているわけです。だったら順調に進んでいるので A 評価なのだけれども、こういう課題がまだ残っていますというような形で施策シートにも書いていただいたほうがいいのではないかと思います。このままだと問題がないという印象になってしまうので、もう少し工夫が必要だと思います。施策の方向性シートは、問題点で書かれている内容と、今後の方針が対応していないという気がしますので、どちらかを変えて対応していただきたいと思います。例えば、「カリキュラムのロードマップの作成が必要だ」という話と、「教科を設定したい」というのは、一対一対応になりません。課題があってそれに対して今後の方向性としてこうしますという対応を付けていただければ、より分かりやすくなると思います。

委員

今回書かれている内容が基本的には前期の基本計画に基づいた活動をされてこの評価シートに落とし込まれているわけですが、前期基本計画のリーディングプロジェクトでは、大きく分けると子ども関係、安全安心のまちづくり、にぎわいとゆとりのまちづくりの3つの「主な取組み」が掲げられています。しかし、評価では、安全安心について施策シートで記載がなく、施策の方向性シートでも、指標の中にひとつだけ安全・安心に関わる指標が出てくるものの、成果、課題、今後の方針には書かれていません。具体的にいうと、計画では、「主な取組み」の「誰もが安心して暮らせるまちづくり」について、「災害に強いまちづくり」、「防災力・防犯力の向上」、「地域包括ケアシステムの充実」が書かれていますが、評価ではその内容について記載がありません。「主な取組み」として掲げた3つのうち、「子どもたちの元気があふれるまちづくり」と「にぎわいとゆとりのあるまちづくり」の2つに関することは書かれていますが、「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり」についてはふれられていません。3つしかない取組みなのに1つがぬけてしまうのは残念だと思いますので、やはりしっかり入れていただいて評価としてまとめてもらうほうがよいかと思います。

会長

南部地域においては、「庄内・豊南町地区住環境整備計画」があり、その計画でも「安全・安心に暮らせるまちづくり」を目標に掲げています。しかし、南部地域活性化プロジェクトのシートでは、この内容が全く出てきておらず、先ほどの委員からの意見同様、「主な取組み」の2つめ「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり」については何もやっていないのかと見えるのはもったいないと思います。道路整備や密集市街地整備などのハード整備が進められており、成果が出ています。前期基本計画ではおおもとのインフラ整備については記載されていませんが、プロジェクトとするならば、入れておく必要があるのではないかと思います。住環境整備計画をみると、一体的にこの地区を整備すると書いてあり、一般的には南部地域活性化プロジェクト＝住環境整備計画と考えられるのではないかと思います。

事務局

今回の計画期間において、小中一貫の義務教育学校を新たにつくること、庄内コラボなどの動き、南部地域のにぎわいづくりが新たに取り組んできたこととして大きく、どうしてもそこに集中した書きぶりになったということがあるかと思います。ご指摘のとおり、地域のインフラをどのように整えていくかは非常に重要な観点ですので、次年度書く際にはその点もふまえて各課と調整をしてどのように記載するかを検討していきたいと思います。

補足ですが、資料1「令和4年度（2022年度）政策評価結果」の62ページ、第3章の「3. 都市基盤の充実」の「施策の方向性（1）安心して暮らせる市街地の形成を進めます」において、「影響度の大きかった事業」で「庄内豊南町地区住宅市街地総合整備事業」を掲載し、成果として「道路等の公共施設の整備のほか、木造住宅等の除去費補助を実施することにより、庄内・豊南町地区の不燃化促進に寄与しました。」と、住環境整備計画に関する内容にふれております。ただ、ご指摘のとおり、「南部地域活性化プロジェクト」では記載できておりませんでした。

会長

書くなら、むしろこの「南部地域活性化プロジェクト」で書かなければいけないと思います。ここ数年とても進んでいると思います。先ほどの「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり」に関する記載がないとのご指摘とあわせて意見として入れていただければと思います。

委員

施策の方向性シートの問題点の3番目に、「庄内さくら学園が掲げる地域とともにある学校の実現に向け、地域住民、地域事業者とのこれまで以上の連携が必要です」とありますが、この書きぶりでは、「庄内さくら学園を運営するために地域の人達が協力しましょう」という話になってしまいます。そうではなくて、「庄内さくら学園や南部コラボを核にしながらこの地域全体を良くしていきましょう」ということだと思いますので、それがわかるような書きぶりが必要かと思います。「2つの施設は着々とできているが、それが地域にどう波及していくのか、地域全体の住環境や活性化にどうつながるのかとの観点はまだまだ強化が必要です」と書くと、これまでの話が包含できるのではないかと思います。

また、まさしく庄内こそSDGsの観点で整備をしていく地域ではないのかと思います。ハード・ソフトいろいろな問題が多く発生しており、それを個別に対応するのではなく総合的支援を行うためにリーディングプロジェクトがあるはずです。そういう観点で書きぶりをぜひ強化していただければよいのではないかと思います。

委員

施策の方向性シートの問題点の1番目の「～、地域住民や事業者などをまきこんだ機運醸成が必要です」との表現についても、一生懸命ハードばかり市が投資してつくっているが肝心の地域住民とのコラボができていないのではないかと誤解を生むのではないかと思います。

委員

小学校を再編するなかでは、廃校になる小学校もあり、自分が育った小学校がなくなる、地元の慣れ親しんだ施設がなくなることに對して、みんながyesと言えないわけではないということもあるかと思います。また、子どもの通学に時間がかかってしまうことや、安全な通学路を確保するために相当な検討が必要だったりもします。さらに、人の流れが変わることに関してもかなりの検討が必要であるなかで、反対意見もあり、みんながもろ手を挙げて新しい学校ができるので、それを中心に地域でがんばっていきましょうというわけにはいかないこともあるだろうと思います。

会長

南部コラボセンターの開設に向けた取組みがスケジュールどおり順調に進んだこと、学校再編による学校跡地について個別活用計画に基づき事業者公募を進める段階にきていること、庄内さくら学園の開校に向けた準備が進んだことなどの観点から「A」と評価されたということかと思います。今後に向けての課題について明確な表現にしていくべきとのご意見が先ほどありましたが、その点いかがでしょうか。

委員

審議会では後期基本計画についても審議し、「南部地域活性化プロジェクト」の目標値をしっかりと掲げ、本当のターゲットの子育て層が入ってくることを目標としましたので、後期基本計画の評価の際には、その点をみななければいけないと思います。

今回の前期基本計画の評価においては、コア施設であるさくら学園と南部コラボをいかにはやくきちんとつくるかがターゲットであり、その観点からみれば「A」との評価でよいと思います。しかし、それは最終ターゲットではないので、コアとなる施設ができたあかつきにどうするかをそろそろ準備するとの意味で、2つの施設を拠点とし、学校跡地をうまく活用しながら地域全体で地域を盛りあげていく取組みを始めていくことを今後に向けた問題点として書くべきではないかと思います。

会長

南部地域活性化プロジェクトは南部コラボと学校再編だけではなく、住環境整備に関わることなど、とても内容が豊かだと思います。密集市街地整備などはイメージアップにつながるもので、それらの取組みが抜けているのはおかしいと思います。総合計画ですので、展開されているいろいろな事業がリーディングプロジェクトの3つの目標に集約していかなければいけないと思います。

委員

施策の方向性シートをみると、学校のことがとてもクローズアップされているとの感想を持ちました。みなさまのご意見をお聞きして、それももちろん大事だけれども南部地域活性化全体では多くの重要なこともあることがわかりましたので、具体的に書けるのであれば、それらも書いていただけたらと思います。

委員

指標として設定している内容と成果や課題で書かれている内容に差があると思います。年少人口を増やすことと学校の整備との関連はわかりやすいと思いますが、4つめの指標の「まちに愛着があるから、南部地域に住み続けたいと思う人の割合」は目標値まで遠い状況にあります。また、この実績値はこの施策の方向性シートに書かれている事業だけで向上するものではないと思いますので、これまで他の委員からご指摘のあった内容をもりこんでいけば、より説得力のある評価シートになるのではないのでしょうか。

委員

多岐にわたっていることは前回の見直しの際にも感じており、ぐっと成果の出ている部分に絞って施策の方向性シートを書かれたと捉えていました。ただ、計画の豊かさ、広がり、もう少し市民に伝わるような表記があることも望ましいことだと感じます。

委員

89、90 ページに付け加えることは無いですが、書きにくいと思いました。高齢化が進む狭いなまちだからこそ魅力を作っていくという事ですが、現在があまり良くないという事になりかねないため、非常に気を使った書き方をしていると思います。そこで、小学校を新しく作って起爆剤にして地域づくりを進めていこうという書き方になっています。スペースが限られている中で書こうとすると長くなってしまいますし、少しだけ書くと舌足らずな言い方になると思います。学校を作りました、福祉施設を充実しました、しかし今はどこでもやっている、という話にならないように伝えなければと思います。

会長

誰もが安全に安心して暮らせるまちづくりは、3つの主な取組みのひとつであり、実際にやっているのだから、書きにくい事ではないと思います。さらに、住環境整備計画では阪急の高架化をうたい、第4次総合計画でも連動した書き方をしていますが、どこかへ行ってしまったのでしょうか。

事務局

豊かな計画というところの視点が漏れた部分があるかと思いますが、来年度までには3つの取組みの部分を出るだけ含めて記載できるように進めていきたいと思っています。

委員

施策の方向性シートの成果の2つ目に「音楽をシェアする駅前通り」や「豊南市場ナイトパーク」が示されています。これに対する問題点・今後想定される事項の2つ目には「新たな魅力の創出や取組みの継続が必要です」とあり、今後の方針の2つ目では「次年度もまちの魅力を感じ・参加できる事業を実施し、地域内外から人を惹きつけるまちづくりをめざします」とつながっています。表面的な言葉になっているため、実績から見えてきた問題は何なのか、あぶり出されていないと感じてしまいます。今後の方針も、現在やっていることを来年もやっていきます、というだけになってしまっています。

何回実施、何人参加して、市民と市民以外がどれくらいいたかなどの分析をして課題を出し、それが最終的な成果として南部地域活性化にどうつながっていくのか、こういった事業が効果的だったというところまで導いてもらいたいと思います。

リーディングプロジェクトは他の地域にも展開してほしいものですが、これをもとに他地域でもやりましょう、といったことがまったく書かれていません。こういったことを検討いただきたいです。

会長

89 ページ総合評価の理由の4つ目の2行目、「参加者からは新たな魅力の創出を肯定する意見や継続を望む意見を踏まえ、…」とありますが、「参加者からは継続を望む意見が多数あり」として、「これを踏まえて次年度もまちの要素を感じ、参加できる事業を実施し、地域内外から人を惹きつけるまちづくりをめざします。」という修正が必要です。

事務局

実際ホームページには、事業の案件の回答など載せています。分析をして政策評価の中でも伝えられるという事ができると思いますので、しっかりと書くようにしていきたいと思います。

委員

いろいろな担当部局の取組み、活性化に向けたソフト面でのまちづくり、学校や道路の整備、多様な関係者のつながりなどについて、課題を出し、方針を決めて進めていく南部地域のプロジェクトが、別の地域でも活かされるような事例となることを期待します。そういったことが分かりやすくなるような書きぶりを期待します。

会長

リーディングプロジェクトについては事務局でまとめていただいて、最終の文章につきましては私の方で責任をもって見ますのでお任せいただきたいと思います。

■ 「3. 2022 年度(2021 年度実施分) 政策評価結果への意見集(案)について」

会長

それでは、次に案件3「2022 年度(2021 年度実施分) 政策評価結果の意見集(案)について」事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料3「2022 年度(2021 年度実施分) 政策評価結果の意見集(案)について」説明)

会長

10 項目にリーディングプロジェクトひとつを加えた 11 項目が意見集となります。この中でも是非ともランクを上げた方がいいというご意見がありましたら議論していきたいと思います。この意見集の取り扱いはどうなっていますか。

事務局

この意見集は、市が自己評価した政策評価に対して審議会から検証いただいたものとして、市のホームページで公表させていただきます。また、次年度に各部局が政策評価シートを作成する際にも、活用させていただきます。

委員

4 番の意見の「成果」というのはアウトカムだと思いますが、「成果」は一般語でもあるので、例えば「全体的に「〇〇しました」など取組みの記述に終始しており、地域社会に与えた成果(インパクト、アウトカム)の記述がない」にしたほうがよいと思います。

5 番では「問題点、今後想定される事項と今後の方針の内容が一致していないシート」として、こういう問題がありますと指摘しておきながら、それに対してはどのようにするか本来書かれていなくてはいけないという主旨です。従って「問題点、今後想定される事項に対して、今後の方針の

内容が合致していない、あるいは対応していないシートが見受けられる」の方が聞いた時に理解できると思います。

委員

用語集に関して、これからまた精査されていくと思いますが、単純に印刷の時に誤字や修正部分があります。2ページの左上部「協働事業市民提案制度」の最後が「制」ではなく「制度」ではないでしょうか。同じく2ページ右中段部「交通空白地」の末尾も抜けているかと思います。3ページの左上部「産業誘導区域」の末尾。4ページの右中段部「ティームティーチング体制」とあるのですが、中の文章は「ティーム・ティーチング」と点があるので、統一した方がいいかと思います。5ページ左上部の「特殊詐欺」の末尾も警視庁HPよりのあとの括弧がありません。

掲載前におそらく複数の方でチェックされると思いますが、このあたりも説明なので、ミスのないようによろしくをお願いします。

■「4. その他」

事務局

(連絡事項)

会長

本日の案件については、すべて終了いたしました。これをもちまして、第4回豊中市総合計画審議会を閉会します。

(以上)